

平成23年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ) 授業科目

テーマ	生命	研究科名	化学研究所	横断区分	理系横断型	開講場所	宇治キャンパス 総合研究実験棟講義室 (CB207-209)
授業科目名	化学の視点で迫る生命現象： 今、若手研究者がねらっていること			講義担当者 所属・氏名	化学研究所・中瀬生彦、渡辺文太、 柘植知彦、川添嘉徳、川本純		
配当 学年	修士 博士後期	コマ 数	5コマ	開講 時期	7月7日(木)13:00~18:00 7月14日(木)13:00~16:15	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕							
<p>化学と生命現象の境界領域における独自の研究を行っている化学研究所の若手研究者が、自らの研究内容とともに、その背景や意義に関して平易に解説する。大学院生から見て、身近な先輩研究者が、どのようなモチベーションを胸に抱きながら研究に取り組んでいるかを知り、討論することで、研究者としての将来の糧とすることをねらう。</p> <p><b>【研究科横断型教育の概要・目的】</b> 化学と生命現象の境界領域の研究は非常に間口の広いものであり、また、研究者により様々なアプローチが可能である。本講義では、単なる知識の伝授をねらうのではなく、先輩研究者が自らの研究ターゲットに向い、どのように考え、どのようにアプローチするかについての姿勢や戦略を学ぶことで、大学院生が広い視野を持ち将来自らの研究領域を切り開いてゆくことに資することをねらう。</p>							
〔授業計画と内容〕							
<p>5名の講師によるオムニバス形式（各1回）：</p> <p>7月7日（木）13:00~14:30 膜透過性アルギニンペプチドの効率的な細胞内移行 -in vitro及びin vivoにおける機序解明から応用への展開-（中瀬） 14:45~16:15 小分子化合物による生命現象の探求（川添） 16:30~18:00 南極に生息する微生物の生存戦略（川本）</p> <p>7月14日（木）13:00~14:30 有機化学的手法による機能性タンパク質研究-基礎から応用まで-（渡辺） 14:45~16:15 植物の情報伝達を制御する分子メカニズム（柘植）</p>							
〔履修要件〕							
なし							
〔修了証授与の要件〕							
全回出席、授業への積極的な参加と、レポートの総合評価により、修了証を授与する。							
〔教科書〕							
特に定めない							
〔参考書等〕							
特に定めない							
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕							
オフィスアワー：随時(事前にアポイントを取ることが望ましい)							